

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	スーパー（店 長）	来客数の動き	・緊急事態宣言で外出や外食を自粛していることで、プレミアム付商品券を利用する客が多く、前年を上回る売上増加につながった。
(東海)	○	商店街（代表 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かっているようで、皆活気が出てきた。
	○	商店街（代表 者）	来客数の動き	・夏休みや帰省の時期のあった前月からは反動が出たが、3か月前と比べれば上向きである。
	○	一般小売店〔書 店〕（営業担 当）	お客様の様子	・年度末の予算消化が少しずつ始まってきている。
	○	スーパー（ブ ロック長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第5波による緊急事態宣言のプラスの効果により、来客数が増加している。緊急事態宣言が出ると内食需要が増加する繰り返しとなっている。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・ワクチン効果もあってか新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、下旬になるにつれて来客数が金・土曜日を中心に増加傾向である。9月の大型連休以降の週末来客数が、前年レベルに近づくまでになってきている。
	○	コンビニ（店 長）	競争相手の様子	・元々当店は専売品であるたばこの販売が市内でトップのため、来月からの値上げに伴う駆け込み需要による特需の幅が他店より大きく、跳ね上がった感がある。悪天候の影響による販売減少も、前月よりは少なかった。
	○	コンビニ（商品 企画担当）	お客様の様子	・ワクチン接種完了の拡大に伴い来客数が増加傾向にあり、日配品を中心に僅かではあるが売上が伸長傾向にある。一方で、一部店舗の酒類販売自粛に伴い、酒類やおつまみを主体に売上確保が困難な状況が続く。
	○	衣料品専門店 （売場担当）	お客様の様子	・外商については、宝石等の高額商品を購入する客が増えてきている。
	○	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・半導体や部品の不足からくる新車の供給不足が、客の購買行動を急がせている。
	○	その他専門店 〔雑貨〕（店 長）	お客様の様子	・ワクチン接種が進み、来客数が増えてきている。
	○	その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する知恵や教訓が蓄積されつつある感じである。緊急事態宣言の有無や新規感染者数に右往左往せず、冷静に判断できるようになってきた。
	○	通信会社（サー ビス担当）	お客様の様子	・大掛かりなシステムメンテナンスの影響で工事手配まで日数が掛かるため、他社のサービスに変更する客がおり、販売が減少している。
	○	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・ワクチン接種率が上がり、客の動きが良くなってきている。しかし、人が動くことでまた感染が広がり、制限されるのでは意味がない。
	○	その他レジャー 〔スポーツレ ジャー紙〕（広 告担当）	お客様の様子	・あからさまにマインドが上向いている。人出も増えてきているように感じる人が多い。
	○	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・上半期の締めで、来春はマイホームで過ごしたい人たちにとって最終月でもあり、販売は好調であった。旅行などに行けない分、また、子供の在宅が長い分、戸建て住宅の人气が今はあると思われる。
□	商店街（代表 者）	販売量の動き	・9月15日頃までは来客数がさっぱりで本当にひどい状況であったが、中旬を過ぎてぼつぼつと来店があり、何とか持ちこたえている。	
□	商店街（代表 者）	販売量の動き	・緊急事態宣言中は人出もまばらで、売上はほとんどない。	
□	一般小売店〔高 級精肉〕（常勤 監査役）	販売量の動き	・全て新型コロナウイルス次第である。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出されているため、売上が全くない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・9月は法人の決算、また個人でも秋口の結婚等で、贈答品や記念品の需要が増える時期だが、新型コロナウイルスの影響で3か月前と同様に厳しさがみられる。残念だが販売量は余り前期と変わらなかった。客が購買に対して様子見の状況が続いている。特に、イベントの中止が売上の伸びない大きな理由である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数が減っていることは確かで、夕方6時になると客はほとんど歩いていない。食料品売場だけが入場制限をしている形で、他の売場はずっと暇が続いており売上も厳しい。土日の昼間は少し来客数があるが、夕方になると本当に客がいなくなるため、閉店時間を早くした方が良いのではないかと従業員で話している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出、第5波ともいわれている新型コロナウイルス感染拡大により、帰省や旅行客の需要を全く取り込むことができない。来客数も前々年比では半分にも届いていない状況で、テレワークなどの在宅勤務によりオフィス需要も取り込めず、非常に厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言により来客数は少ない日が続いた。新規感染者数が減少し始めると、ワクチン接種の効果もあって徐々に増えてきた。しかし、購入客数は伸び悩み前年割れとなった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言のなかで、買い回りも増加しておらず横ばいである。お盆の動きも、長雨の影響もあったが前年には届かなかった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・長雨の影響が大きく出た。白菜やキャベツなどの葉物が予想以上の高値で売らざるを得ない状況が続き、売上の減少が大きく響いた。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は減ったり増えたりで、余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株の感染急拡大で、一時的に内食需要の高まりが感じられ客単価の上昇があったが、比較的早期に落ち着いたこともあり、再び安定した消費傾向になっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・旅行に行けない昨今、駅弁イベントの売行きは良かったが、日々の買物はシビアである。トータルでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出され、内食・中食需要の高まりから9月の売上は前年比103%とやや好調ではあるが、決して景気が良くて売上が拡大しているわけではなく、さほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出と解除に左右される状況が続いている。いずれにしても売上、来客数共に前年比、前々年比を大幅に下回り、悪い状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	販売量の動き	・おでんと中華まんがスタートして好調な販売ができていますので、売上が維持できています。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・既存店の前年比は102.2%である。緊急事態宣言中であつたが、想定ほど客の動きと購買意識は下がらなかった印象を受ける。低調ななかで前年並みの水準となったため、業績は変わらないと判断する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・中旬までは緊急事態宣言に暑さも重なり、来客がほとんどなかったが、秋物立ち上がりの案内と上客へのアプローチで、下旬は何とかひと息つけた。いまだに年配の人ほど不要不急の外出を家族に抑えられている様子が見えがえた。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・売上の的には毎日かなり厳しかったが、10月1日からの仕事始めやリモートワークから職場への出勤に戻るため、後半はスーツの売上が伸びた。緊急事態宣言が解除されてからの販売に期待したい。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・プレミアム付商品券のお陰で来客数は回復傾向だが、一見客も多く商品券の額面までの買物が多い。来客数は多いためレジ業務は忙しいが、大物が売れない。特にエアコンが良くない。これから閑散期に入るので余り期待はできない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が出ていても来店客はそれほど減らずにきていたが、半期の決算時期にしては、販売台数が少なかった。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出で、以前ほどではないが人々の動きは鈍く、車両の走行距離にもそれが表れている。必要最低限以外の出費をできるだけ抑えたい気持ちも見受けられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来店希望や問合せ件数が多く、季節要因を除いても動きは悪くない。いろいろな制限が解除となる方向なので、そういうメンタリティーも関係していると思う。ただ、特段に良いというほどではなく、やや良いという感じである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が出ており、積極的な販売活動を行うことははばかれる環境にある。客の中には会って話をすることを心配する人もいる。客を不快にさせないためにも最低限の営業活動にならざるを得ない。新型車両も発売されており残念に思う。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・今年に入ってからというもの、緊急事態宣言の有無にかかわらずずっと横ばい状態が続いている。落ち込んでいく様子もなければ、上がる様子もない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・住宅や商業施設などのリニューアル工事が中止になるなど、まだ様子見の現場が多い。すぐに受注に進むような良い状況ではない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	単価の動き	・今月は、後半になって新型コロナウイルスも落ち着き人出は戻りつつあるが、ボーナスや給与などは減少傾向にあり先行き不安もあるため、客の財布のひもは固くなっている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の継続により、来客数は厳しい状況であったが、9月の大型連休は昼の営業については少し活気があった。1か月全体では自粛の月であった。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	それ以外	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の発出で現在休業中のため、他の店との比較ができないが、客の話を聞くと、出たくても出られないということであった。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第5波の影響で相変わらず団体客は見込めず、売上は落ち込むばかりである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・当店は、現在緊急事態宣言に従い休業している。
<input type="checkbox"/>	バー（経営者）	お客様の様子	・店によって客の出入りの差が激しい。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	お客様の様子	・業種によって好不調が大きく異なる。客も、購入意欲の強い人と購入を控える人の2極化の様相である。今年は新型コロナウイルスの影響のあった前年の売上は超えると予想していたが、前年水準の維持がぎりぎりとなりそうである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言のなかで、悪い状態で推移している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	それ以外	・ターミナル駅前のビルでは、1階に開店した外国製高級腕時計専門店街で来店客の姿を見掛けるのがほとんど難しい。地下1階の洋菓子や和菓子の店も、この頃は行列が少なくなり、和食の店は1月以来閉店したままである。通路でつながっている地下街でも、長期にわたって店が決まらなかつたり、ファッション関係の店が減り、マッサージ店やブランド買取り店舗などが増えてきている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言下で旅行の仕事はほぼゼロに近い。いつ上向くか判断が付かない。

□	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・やっと緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除される日が来るが、カンフル剤的に観光業を援助する施策がないと、元のように客が戻ってこない。Go To Travelキャンペーンの第2弾と、県独自の割引・クーポン等の補助制度の早い実施を期待する。
□	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・観光目的の旅行は依然皆無である。会議やスポーツ選手の遠征に関わる移動の手配は発生するが、行事自体の中止により結局催行されないケースがほとんどである。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・足元では変わらないが、緊急事態宣言の解除でどうなるか分からない。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が続いており、相変わらずビヤガーデンは閉店、飲食店でもアルコールは出せず夜8時で閉店のため、夜の街もひっそりしている。この時期の墓参りや結婚式場などの人出も、新型コロナウイルスの感染がなければもっと良かったが、今は結婚式場も土日祭日でも式を挙げる人が少ない。まだまだ厳しい状態が続いている。
□	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数、解約数共に前年を大きく下回ってきており、人が動かなくなっているように感じる。
□	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の波がある。
□	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月は天候も安定せず、入場者数は予算を下回った。3か月前から入場者はやや低調である。ゴルフ場の入場者は新型コロナウイルス感染症の影響よりも天候に大きく左右される。しかし、レストランの売上は、緊急事態宣言等によって大きく減少している。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・徐々に通学定期利用者数が戻りつつあるものの、回数券利用や家族送迎で対応している様子が見られ、回復には至っていない状況である。
□	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・人気商品のキャンペーンに引き続き、別のキャンペーンが始まった。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・まだまだ新型コロナウイルスの影響でイベント等がないため、外出を控えている客が多い。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・緊急事態宣言下であったが、思ったほど売上は落ち込んでいない状況である。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・時間制限のある案件が終了してからは、案件数は減少したままである。大規模な案件はほとんどない。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少はみられるが、まだ売上には反映されてきていない。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・緊急事態宣言のなかで客足も伸びず例年以下であるが、直近では例月並みである。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・周囲のホテル勤務者によると、当地の大きなホテルでも宴会が激減している。大分新規感染者数は減ってきているが、まだ仕事は増えてこない。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量が伸びてこない。商店街・駅・量販店など全ての立地の売店で伸び悩んでいる。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・販売量は9月に入ってかなり落ち込んだ。緊急事態宣言の発出でイベント等ほとんどの行事が中止や延期になり、花の出番がなくなった。また、生け花のお稽古を休む先生も多く、売上は半分以下になった。葬儀関係の花も、家族葬ばかりで数が出ない。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言で、取引先の営業が止まりどうしようもない。
▲	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言下で来店客は少なく、通販の伸びも特になかった。
▲	スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小の飲食店は、来客がほとんどないということで悲哀を帯びている。青果物関係は、野菜の価格高騰で売れないということで、悪い状況が続いている。
▲	スーパー（店員）	単価の動き	・全体的に単価が非常に低い状況である。

▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が出て混雑時に入場制限の告知がされた影響もあり、来客数が落ちている状況である。
▲	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・前月からの緊急事態宣言で通勤客の減少、休日の外出自粛の影響を受け、駅ナカの店舗は売上が減少となった。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候も関係して、来客数は前年比で減少気味である。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・9月も緊急事態宣言の発出中で来客数の減少が続き、特に飲料水、アイスクリームが振るわなかった。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・夕夜間の来客数は減少傾向にある。また、店舗があるテナントの来客数も少ない。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・コロナ禍の影響で外出が減ったこと、また天候不順により客の仕事が減り、必要となる備品の販売が減った。
▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・不要不急の外出を避けているのか、来客数が落ちている。全体的に販売台数が伸びない。
▲	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・東京オリンピックが終わり当地にも緊急事態宣言が発出されてから、客の元気がなくなり、購買意欲も薄れている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・7月から販売台数は前年比で減少している。新型車投入で表面上はある程度の販売台数を維持しているが、登録に結び付かないため売上にならない。
▲	乗用車販売店（従業員）	それ以外	・半導体問題は今月頃には解消する見込みだったが、サプライヤーの施設の火災や海外からの供給遅れで更に長引き、売上のめどが立たない状況で非常に厳しい。
▲	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・今までに余りなかったことであるが、残価設定型ローンを組んでいる客でも再ローンを組んだり、今まで車検を通さずに新しい車に換えていた客が車検を通すケースが増えてきた。
▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・県下でも緊急事態宣言が発出中なので、外出を控える客が多いと思われる。売上は例年の2割減少で推移している。
▲	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言による外出自粛要請のため、かなり来客数が減った。9月は6日間の営業のみで休館せざるを得ず、需要が消失してしまったような状態である。非常に来客数が減っている。
▲	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・予約が入ってもすぐキャンセルになる。
▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・部品の欠損で、工事が遅れている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・不要なものを見直しているのか、解約申込みが増えてきていると感じる。
▲	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと難しい。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・行動自粛のためか、客が余り来てくれない。
▲	理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染がこれほど長く世界を騒がせるとは思わなかった。早く静かになってほしい。
▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・打合せの際に景気の良くなるような話は聞かれない。
▲	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・金融機関の住宅ローンが、借入期間40年という超長期でも利用できるようになったことを好感して、検討する人が出てきた。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・支援をしている物流倉庫の社長に聞くと、忙しいが人件費や燃料費等のコストが掛かり、利益は全く上がらないそうである。倉庫内は前々月よりばたばたしているが、景気が前向きな方向に向かっているようには見受けられない。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・1か月以上続く飲食店への酒類販売自粛要請と新型コロナウイルス第5波の影響で、コロナ禍が始まってから最も悪い販売量になっている。

×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・8月末に緊急事態宣言が発出されてから、9月一杯この地域で最大の市営駐車場が閉鎖され、観光客をシャットアウトした。毎日2000～3000名程度いた県内外からの観光客は、毎日10数名程度、週末でも200～300名程度となり、その人たちもマイカーで駐車場を探して右往左往していた。観光都市として、史上最低を記録した。
×	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の延長に伴う個人の出控えや企業の出勤抑制等によって、人流が大きく低下している。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・コロナ禍の最中で、緊急事態宣言が始まってから不要不急の外出を控えており、来客数も前年割れが続き例年より大幅減少のまま推移している。店内滞留時間も短くなる傾向にある。
×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新規感染者数の爆発的な増加と緊急事態宣言の発出による自粛要請で、来客数が減少している。
×	百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言の発出により、来客数は激減し、売上も悪化している。
×	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・過去最高の新規感染者数となり、多少上向きかけていた消費意欲の減退が顕著に感じられる。ここ最近は新規感染者数が減少に向かっているが、まだ客の動きには現れてきてはいない。
×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出以降、門前町の飲食店への食材納品は皆無である。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・世界的な半導体不足で生産ができないので、車の納車予定が立たない。非常に販売しにくい状況である。
×	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で、商店街は多くの飲食店が閉店しており、人流が完全に滞っている状態である。
×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言で、店そのものを開けられないという状態が続いている。
×	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言が月末まで延長されて最悪の状況である。中旬以降に入っていた会議会合等の宴会も、ほぼキャンセルとなった。9月の大型連休中の個人予約も解約されてしまい、9日間の宿泊休止日を含み4月以降最低の宿泊人数となる。食堂は、特に夜の来店客が激減し、ノーグーストの日を幾日も数えた。
×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言により宿泊客は大幅減少である。レストランは、ランチ客が少しあるのみである。宴会は、ほぼキャンセルである。Go To Travelキャンペーンの効果があった前年と比べて、大幅減収である。
×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・夏の旅行シーズンも緊急事態宣言で取消しが発生し、全く新規予約が入らない状況である。客もワクチン接種を2回してもブレイクスルー感染が報道されてからは、ゆっくり旅行する気分ではなさそうである。テレビをみていると、連休中は近場の日帰り、宿泊需要はにぎわいをみせていて旅行業界の景気が戻っているように錯覚させられるが、社員旅行など団体旅行は駄目で、海外旅行も帰国後14日間の隔離があり自由に行動できるようになるまでは全く駄目である。旅行会社としては前年あったGo To Travelキャンペーンも中止で厳しい状況のままなので、何か考えてほしい。海外旅行が販売できないと厳しい。
×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言下での移動自粛、営業時間の短縮、酒類提供の停止等により、集客、売上共に例年の水準から大きく減少した。学校団体客は、取消しや日程変更になった。
×	観光名所（案内係）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響はひどく、今月はどこもかしこも大変だった。
×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・単価や来客数の動きが悪くなっている。
×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が公共交通機関を利用してまでは来店しなくなった。
×	美容室（経営者）	それ以外	・2年続いている新型コロナウイルスの影響で、当店は高齢の客が多いため、感染が怖いからとパーマを掛ける客が余計に減り、とても暇になっている。

企業 動向 関連	◎	*	*	*
(東海)	○	食料品製造業 (経営企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注量は、新型コロナウイルス発生前のようにはなかなか戻らない。今後も厳しい状況は続くと思われられる。
	○	窯業・土石製品 製造業 (社員)	受注量や販売量 の動き	・半導体関係製造用の消耗品の受注が順調な上に、新規取引先や新規案件も多くあり、残業で対応している。
	○	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・業種によってばらつきはあるが、売上金額をみると注引量等を含めて若干増えている。
	○	通信業 (総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・物流に関しては、倉庫システム及び輸配送システムの改善依頼などが格段に増えている。
	○	不動産業 (経営 者)	それ以外	・例年よりもやや雨の日が多い上に緊急事態宣言の影響もあり、外出や遠出する人が減少していると思われるが、下旬には徐々に人も回復傾向になっており、売上は前年を上回る状況になってきている。
	○	その他サービス 業 [ソフト開 発] (社員)	受注量や販売量 の動き	・大学の活動が動き始め、需要が増えてきている。また、企業による大規模発注で受注があった。
	□	化学工業 (営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・引き続き半導体向け電材薬液の需要が好調である。
	□	化学工業 (総務 秘書)	それ以外	・長引く外出自粛生活で、景況を感じにくい日々が続いている。機器改修の相見積りを取ると、新型コロナウイルス発生前は価格競争で値が下がったが最近は高止まりで、無理をして仕事を取りにこない傾向が見受けられる。モノもヒトも安売りはしない、無理して売らず働かないという傾向である。コロナ禍で、今までの働き方が見直されたような心境の変化を感じる。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量が相変わらず少ない状況が続いている。
	□	電気機械器具製 造業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注は好調だが、部品不足などで制限が出ている。
	□	輸送業 (従業 員)	受注量や販売量 の動き	・荷主の業種によっては、受注量が戻りつつある。しかし、自動車関連については、新型コロナウイルスの影響により部品供給が止まってしまったこともあり、現在は受注量が落ちている。
	□	輸送業 (エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・コロナ禍にあつて荷物量は前年比でほぼ同じくらいである。前年の今頃は、前々年と比べるとマイナス5ポイントくらい荷物量が減った。上半期末の現時点においても荷物量がさほど増えてきていないということが気掛かりである。景気回復には結び付いていない潮流にあると考えている。
	□	輸送業 (エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・航空貨物便はピーク状態が継続している。新型コロナウイルスの感染状況が世界レベルでは変化はなく、同じ状況が続いている。
	□	金融業 (従業 員)	取引先の様子	・9月中は緊急事態宣言により時短営業や休業している飲食店が多く、景気は以前と変わらないように感じた。その他の業種においては、新型コロナウイルスとの向き合い方が習慣化されていると思う。
	□	金融業 (従業 員)	取引先の様子	・大手自動車メーカーの関連会社が多い当地では、少し前から生産がかなり減少し、労働自体が少なくなっている。そういう点も含めて現在の景気を考えると、良いところもあれば悪いところもあり、どちらともいえない。
	□	金融業 (企画担 当)	取引先の様子	・緊急事態宣言下であり、外出の自粛等により特に飲食関連業界、旅行・ホテル等の観光関連業界は引き続き厳しい状況である。もう少し日常が戻らなければ、景気回復は期待できない。
	□	不動産業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・問合せ等が一段落し、2極化した価格も安定している。
□	広告代理店 (制 作担当)	取引先の様子	・9月に入って、地元でも新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきているが、客の企業側もまだしばらくは様子見の感が強い。	
□	行政書士	受注量や販売量 の動き	・運賃収入は減っているが従来どおりに稼働している物流業者が多い。	

□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店が、来店客の減少に対応してテイクアウトを拡充したことで売上高の減少を抑えようとしている一方、大手自動車メーカー関連の製造業が8月後半以降減産になり、再度雇用調整助成金の申請が必要になっている。双方を勘案して、変わらないとした。
□	その他非製造業 〔ソフト開発〕 （経営者）	取引先の様子	・外注先は時短や週休3日制の導入など、なかなか厳しい状態が続いている。ただ、新型コロナウイルス感染の沈静化で少し気分的に明るくなり、景気も多少は良くなっていると思う。しかし、大手からの発注量は低水準である。
▲	食料品製造業 （営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少が続いている。
▲	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （顧問）	受注量や販売量の動き	・自動車関連企業は、半導体不足の問題等で景気が落ち込んでいる。全般的にも新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き出ており、景気はやや悪い。
▲	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製鋼メーカーの度重なる一方的な値上げに対して、客も事業者も疲れ切っている。中小零細企業潰しをしているとしか思えない。大手自動車向けの値上げに比して我々は3倍の額の値上げを強要され、更に今も値上げを通達されている。
▲	金属製品製造業 （従業員）	受注量や販売量の動き	・非住宅系の建築市場自体は、さほど大きく落ち込んでいないと聞かすが、物流施設が多い。当社製品を必要とするオフィス、商業施設、病院や公共施設は足元の動きが鈍く、受注が伸びない。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の不足から減産する自動車メーカーが増え、全世界で自動車製造用の設備投資を控える傾向がある。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・高速通信機器の受注は継続して引き合いが強い状況で申し分ないが、半導体部品の供給不足により一部で生産、供給に遅れが出始めた製品や商品もあり、今後の懸念材料である。
▲	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・部品調達がうまくいっていない自動車の完成車メーカーが工場を停止することになり、我々にもその影響が出ている。休業も考えなければならない。
▲	建設業（役員）	取引先の様子	・9月は例年住宅販売の繁忙期に入るが、当社の成約件数は伸びず、他社も低調と聞いている。新型コロナウイルスの第5波が大きかったため、その影響があるのではないかと。
▲	輸送業（経営者）	取引先の様子	・コロナ禍は続いているが、巣籠りによる需要増加といわれてきた日用雑貨の物量が、前年と比べ10%ほど下がってきている。
▲	通信業（法人営業担当）	競争相手の様子	・公共案件に参入する新規競合の数が増えている。システムベンダのなかでも畑違いの他社に、格安価格で落札されるケースがある。
▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・基準地価の下落や10月からの小麦粉、油の値上げで、景気回復にはまだまだ時間が必要と感じる。思いの外コロナ禍が深い傷となっている。特に中小の飲食業、観光業及びそれに関連する業者全般において深刻な状況と思われる。政府の種々な交付金等、有り難い面とそれらの対象にならない業種もあり、身の回りを取り巻く環境や率直な意見を耳にするにつけ、株価のような状況とはとても思えない。
▲	会計事務所（職員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大による客先の売上減少で、販売状況は依然厳しい。緊急事態宣言発出の繰り返しにより自粛ムードが当たり前となり、消費しないことが当たり前となっているように感じる。
×	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がかなり出ている。
×	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・生産調整で1か月の3分の2ほどが休みになった。
×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言下の影響か、新聞折込チラシが減少している。スーパーのなかには全く折込チラシを出さないチェーンも出てきている。

	×	公認会計士	それ以外	・コロナ禍で客である中小企業の業績は厳しい。中小企業の従業員の給与・ボーナスは上がっていない。大企業の好業績や高い株価が理解できない。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・自動車関係の客からは、電動化に関する業務で、10～11月の期替わりの時期から開始の派遣の引き合いが増えている。
	○	人材派遣会社 (企画統括)	求職者数の動き	・求職者の動きがやや活発化してきており、新規求職者数が前年同期比で増加している。
	○	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数、成約数共に前年同期を上回り、3か月前と比較しても増加している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月と比べ増加している。輸送用機械器具製造業の主な業種である自動車製造業の求人数が、前年同月と比べ大きく増加している。また、労働者派遣業においても、自動車製造業関連業種が派遣先の求人数が、前年同月と比べ増加している。現状では求人状況は好調であるが、半導体等の供給不足による完成車の生産調整の影響が今後は出てくると思われ、先行きに不安がある。
	○	職業安定所（次長）	求人数の動き	・職種別有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、一部職種で回復の遅れがみられるものの、多くの職種で上回っており、全体でも4か月連続で増加し、増加幅も伸びている。前年同月は既にコロナ禍の影響を受けており、前々年同月との比較では、全体として大きく減少しており、コロナ禍以前の水準には達していない。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・採用決定者数は、コロナ禍の影響を受けることなく引き続き堅調に推移している。
	□	人材派遣会社 (経営企画)	周辺企業の様子	・特に大きな変化はない。
	□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響から休業する企業も目にしており、緊急事態宣言の解除まで回復の兆しはみえない。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車関連メーカーの大幅減産で、工場の稼働停止は部品製造をする裾野の企業にまで影響がある。今後もこの問題が継続する懸念がある。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・求人広告は低迷が続く。緊急事態宣言の解除以降に人の動きが戻るかに注視する。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は改善に向かっているが、1年半に及ぶ影響は大きく、市の中心地の店舗では閉店が増えている。映画など興行系の企業からも悲鳴が届いており、厳しい状況のまま推移していると実感する。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数が5か月連続でほぼ同数で推移している。
	□	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・企業が採用に慎重になっている。人手は欲しいが育てる余裕がなく、即戦力でなければ採用しない傾向が顕著である。
	▲	*	*	*
×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・緊急事態宣言のため悪い。	